

第4号議案

社会資本整備総合交付金事業(道路改築)
はやしながのはらせん
 (一)林長野原線 長野原町

着工年度
 評価理由

平成8年度
 再評価後5年経過

1. 事業の目的

本路線は、ハッ場ダム建設事業により水没する国道145号の公共補償として整備するダム湖南側を走る国道145号ハッ場バイパスを補完するとともに、生活再建を図るため林地区と長野原地区の代替地を結ぶことを目的としたダム湖北側に整備するものである。
 本事業(水特事業)は、公共補償による道路整備と合併施工により、水源地域住民の交通の安全・利便性を確保するとともに、地域振興に寄与するものである。



2. 事業概要と進捗状況

事業概要

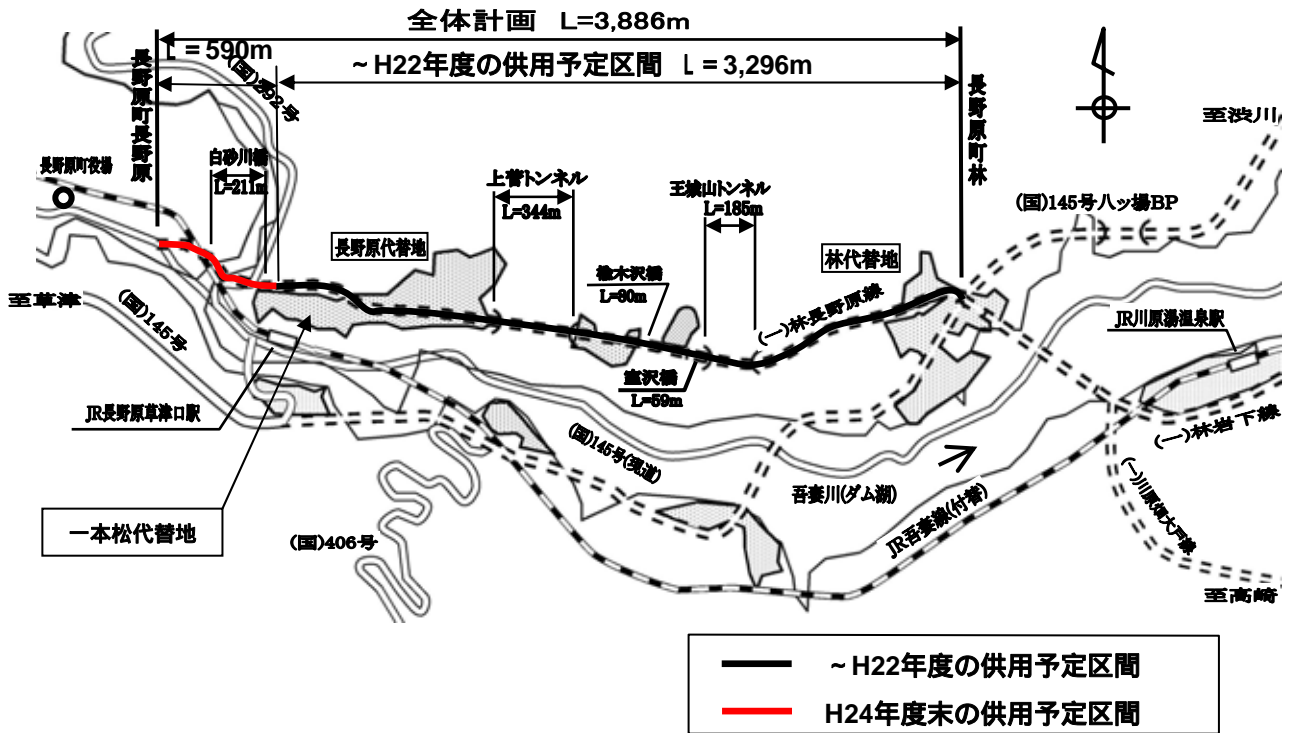
事業場所	ながのはらまちはやし 長野原町林 ~ ながのはらまちながのはら 長野原町長野原			
	今回	前回再評価時	摘要	
区分	今回	前回再評価時	摘要	
全体事業費	2,944百万円	1,974百万円		
全体事業費増減の理由	用地補償費の増等	-		
事業期間	H8~H24	H8~H22		
事業内容	道路延長 3,886m 幅員 6.0(13.5)m	道路延長 3,886m 幅員 6.0(13.5)m		
摘要	総事業費			
		総事業費	ダム事業費	
			水特事業費	
	事業費(今回)	15,500百万円 (+6,060百万円)	12,556百万円 (約81%) (+5,090百万円)	2,944百万円 (約19%) (+970百万円)
	事業費(前回)	9,440百万円	7,466百万円 (約79%)	1,974百万円 (約21%)

進捗状況

年度	主な経緯	事業経緯	全体計画	現在の進捗状況 (進捗率)	前回評価時の進捗状況 (進捗率)
H8	工事着工	事業費	2,944百万円	1,948百万円 (66.2%)	1,645百万円 (55.9%)
H13	用地買収開始	用地買収	135,139m ²	122,600m ² (90.7%)	24,584m ² (18.2%)
H22	終点側 L=3,296m 供用開始予定	計画延長	3,886m	1 3,296m (84.8%)	884m (22.7%)

2. 事業概要と進捗状況(図面・写真等)

(一) 林長野原線



【ダム事業と水特事業の合併施工区間(一般部)】



(一) 林長野原線



3. 事業の目的・必要性に変化はあるのか？

本事業(水特事業)は、水源地域対策特別措置法による水源地域整備計画(平成7年11月28日、内閣総理大臣決定)に位置付けられた道路改築事業であり、ハツ場ダム建設事業の工期延期等により水源地域住民の生活への影響が長期化されるなか、現在ダム本体工事においては入札中止となっているが、水没関係住民は代替地への移転を望んでいる。生活再建と地域振興の骨格施設である本路線の早期完成が急務となっており、現在も事業の目的に変化はない。



4. 目的を達成するための事業(手段)は適当か？

ダム本体工事は入札中止されているが、水没関係住民の早期生活再建と地域振興を図るため、他地域とのアクセス道として、また、代替地内の主要道路として本事業は必須である。
平成22年度には、一本松代替地～国道145号間(L=3,296m)の暫定供用を予定している。

費用便益分析

単位:千円

		計画・前回再評価時		今回再評価時		備考	便益説明
算出根拠マニュアル		平成15年8月		平成20年11月			
基準年		平成17年		平成21年			
区分	項目	現在価値	構成比	現在価値	構成比		
費用 (千円)	工事費	2,165,000	89.7%	3,217,000	91.7%		
	維持管理費	248,000	10.3%	291,000	8.3%		
費用合計(C)		2,413,000		3,508,000			
便益 (千円)	走行時間短縮便益	5,083,000	87.6%	4,233,000	91.9%		
	走行経費減少便益	637,000	11.0%	16,000	0.4%		
	交通事故減少便益	79,000	1.4%	355,000	7.7%		
便益合計(B)		5,799,000		4,604,000			
費用対効果分析(B/C)		2.40		1.31			

5. 事業が長期間要している理由は？

【 元々が長期計画

不測の事態により長期化】

- ・国土交通省の代替地整備方法が、「ずり上がり方式」という水没地区内の高台に代替地を整備し、関係住民が移転する方式を採用しており、国土交通省の計画そのものが元々長期計画である。
- ・また、本路線の整備はこの代替地造成と協調して行われるが、代替地造成が遅れたことにより、長期計画となっている。

6. 事業の対応方針は？

事業継続

事業中止

変更なし

・ 事業計画の変更

・ スケジュールの変更

・本事業は、ハッ場ダム建設事業に伴う生活再建の基幹をなす道路事業で、国道145号ハッ場バイパスと一体で、当該地域及び上下流町村の地域振興に寄与するものである。

・平成22年度には、一本松代替地～国道145号間(L=3,296m:全体の約85%)の暫定供用を予定しており、代替地移転住民の一層の利便性の向上を図ることができる。

・現在、ダム本体工事においては入札中止となっているが、水没関係住民は代替地への移転を望んでいる。生活再建と地域振興の骨格施設である本路線の早期完成が急務となっており、現在も事業の目的に変化はない。また、地域住民の本道路の早期完成に対する期待は非常に大きい。

・本路線の整備は、水没する道路の機能補償工事である国土交通省のハッ場ダム建設事業と協調して実施している。ハッ場ダムの基本計画は変更されていないため、事業継続して平成24年度に完成させる予定である。